

1. 大学生が考える就職活動で重要だと思うスキル・要素

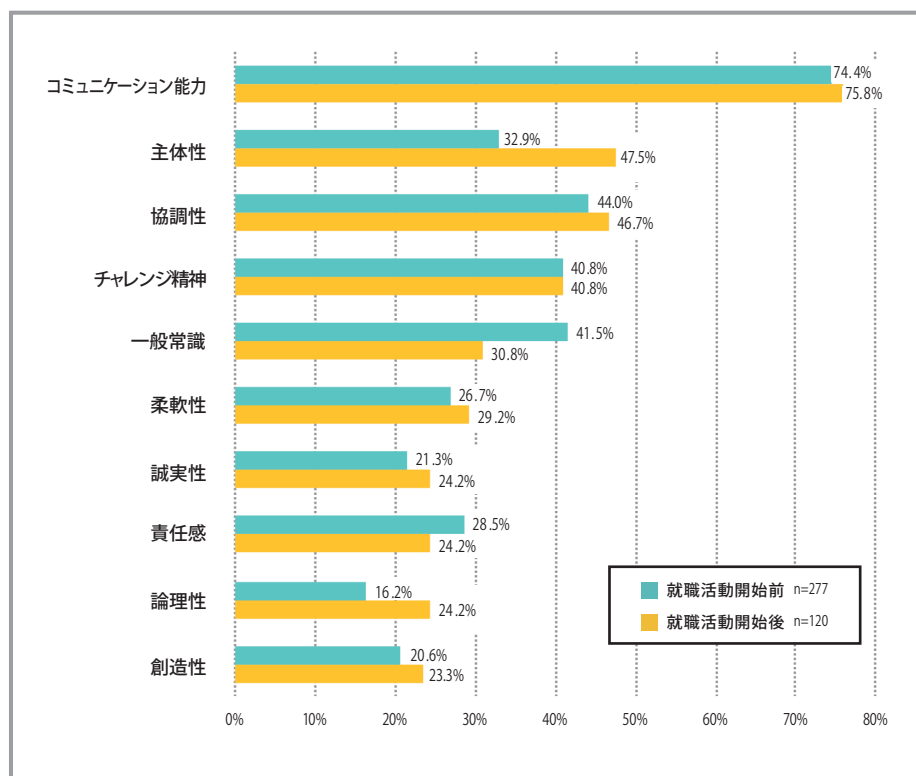
《サマリ》

- 上位のスキル・要素の項目は、就職活動開始前と開始後で大きな変化は生じなかった。
ただし、「主体性」と「一般常識」において、順位の逆転が見られた。
- 就職活動に必要なスキル・要素を、大学の就職支援部門で得ることができたという学生は 49.1%。
同様に大学の授業で得ることができたという学生は 43.3%。

【図表 1-1】就職活動開始前と就職活動開始後で重要だと思うスキル・要素の比較

	就職活動開始前	就職活動開始後
1位	コミュニケーション能力	コミュニケーション能力
2位	協調性	主体性
3位	一般常識	協調性
4位	チャレンジ精神	チャレンジ精神
5位	主体性	一般常識

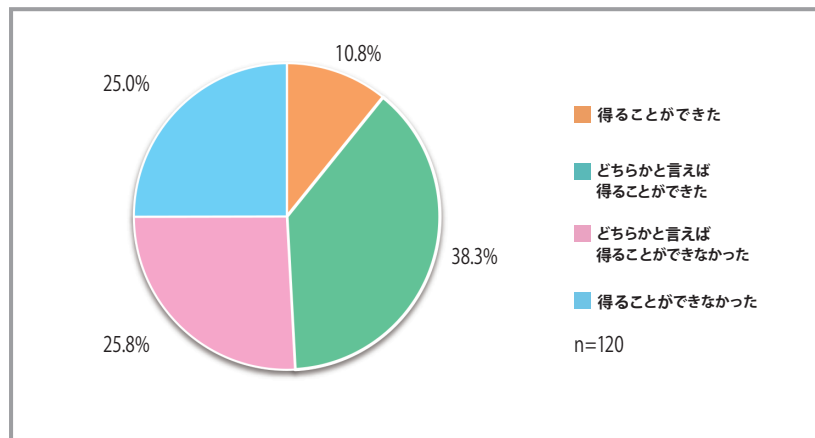
【図表 1-2】就職活動開始前と就職活動開始後で重要だと思うスキル・要素の比較



【就職活動開始後に重要だと思うスキル・要素を選んだ理由】（※複数選択肢に対する理由）

- コミュニケーション能力はいろいろ言われてるけど、やっぱり笑顔でハキハキ、ちゃんと受け答えできることは重要だと思ったから。
（神奈川県・21歳・女性）
- 現状どんな分野の職業でもあたらしいやり方に挑戦する必要があり、新しい人材にもそれを求めている感じがしたから。
（愛知県・22歳・女性）
- 第一志望でないところでも、論理的に第一志望と言え、相手を説得する事が必要であると感じた。
（東京都・23歳・女性）
- 面接を受けていく中で、予想外な質問に対して、論理的かつ柔軟に対応するという能力が必要であるということを実感した為。
（愛媛県・21歳・女性）
- 空気を読む、というのは面接等他者とコミュニケーションをとる上でやはり大事だと思った。グループワークなどでの場面はもちろん、たとえ個人面接であっても面接官との「協調性」を築いていくことは大事だと考えるようになった。気持ちの切り替えや、臨機応変な心持をもつために「柔軟性」が必要と考える。
（千葉県・22歳・女性）
- 企業に入れば、学業の成績が悪かろうが良かろうがスタートラインは同じところからであるから、企業で必要になってくる知識は入社してから覚えるものであるし、そうなるリーダーシップなどの人柄の分野が重要になってくると考えたから。
（福岡県・20歳・男性）
- 面接で想定していなかった質問にしっかりと答えられることが内定への道だと思う。そのためには柔軟に考えられる力が必要だと思う。また、コミュニケーションができ、協調性がある人こそ求められている人材だと感じた。
（石川県・21歳・女性）
- 就活は自分のためにやるものだし、誰かにやってもらうわけにもいかないの自分から動ける主体性やチャレンジ精神が重要だと思った。今まで関わりのなかった大人との接触もあると思うのでコミュニケーション能力も欲しい。また、一般常識は試験でも使えることもあるしなにより会社に入った後も必要だと思ったので。
（神奈川県・21歳・女性）

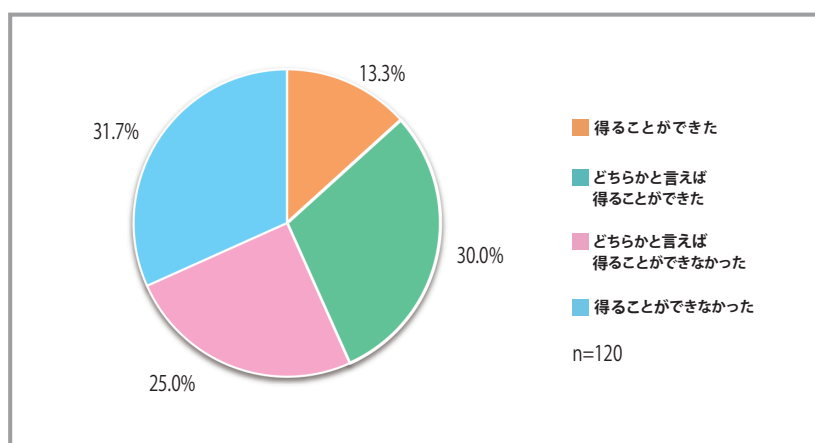
【図表 1-3】就職活動に重要なスキル・要素を就職支援部門で得ることができたか



【就職支援部門に期待すること】

- 自分の学校の人がどんなところへ就職したのかなど、過去のデータをより充実させてほしい。
(千葉県・22歳・女性)
- ボランティア活動の推進(就職活動という理由ではなくて、力が身につくんだということを教えるということ)授業への積極的参加(考える力を養える)
(広島県・21歳・女性)
- その企業や業界の実情や求められる能力を具体的にイメージしやすい様に教えてくれること。
(福岡県・20歳・男性)
- どのように就活を進めればいいのかという方法を教えてほしい。本格的に始まる前に何をしておけばいいかということを知りたい。
(埼玉県・21歳・女性)
- 先輩方とときの就活がどうだったのか、今年の自分の通っている大学での状況はどんななのかといった生の情報を教えてほしい。あと色々講座を開いてくれているのはありがたいのだが開講日時をもうちょっと参加しやすい時間にしてほしい。
(石川県・21歳・女性)
- 就職活動が始まって実際にエントリーシートに接したり、面接を行うまで、就職活動のイメージがつかめず、何が必要なのかが分からなかったため、大学生活の中で就職活動を意識した行動ができなかった。就職に必要なスキルを身につけるといふより、まず就職活動においてどういう質問がされ、それにどう答えると良いのか、どういう能力が求められるのかなどを具体的に教えてもらえると、就職活動前に色々な経験や資格取得、自己分析に悩み貫くことができ、就職活動中に多くの時間を使って悩まずに済んだ。
(神奈川県・22歳・男性)

【図表 1-4】就職活動に重要なスキル・要素を授業で得ることができたか



【授業に期待すること】

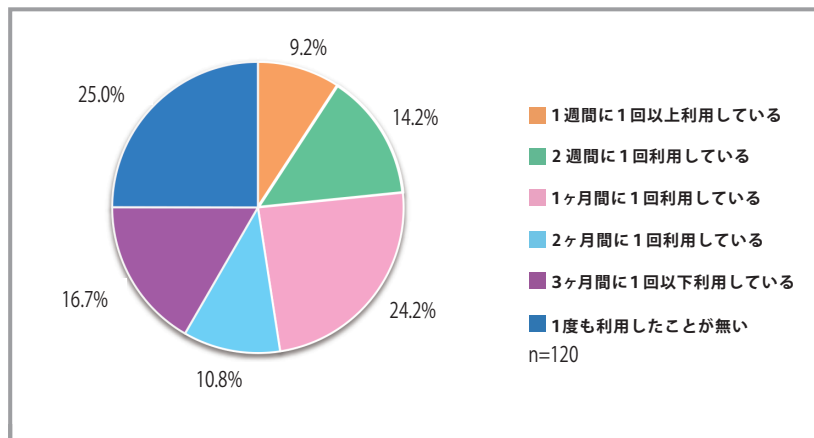
- 一方的な授業じゃなくて、コミュニケーションをとりながら進めるような授業をしてほしい。
(埼玉県・21歳・女性)
- 資格取得の出来るような、身になる授業をして欲しい。今やっている勉強は社会に出て役に立つ気がしない。
(佐賀県・22歳・女性)
- 理論だけを教えるのではなく、その理論が社会でどのように使われているかという具体例を教えて欲しい。
(兵庫県・20歳・男性)
- 知識を教えるだけでなく、幅広い一般常識やコミュニケーション能力等を養うような教育。
(千葉県・24歳・女性)
- 早くから(1・2年のうちから)ある程度職業についての考え方などを考える場をもらうこと。
(愛知県・21歳・女性)
- 一方的に生徒が授業を聞くのではなく、ディスカッション等を行って生徒が主体的に参加する授業にしてほしい。
(大分県・21歳・男性)
- 企業がどのようなことをしているかなど、実名を挙げて説明してもらった授業はイメージしやすくてよかった。就職活動に関してイメージできる授業があればいいと思う。
(福岡県・21歳・女性)

2. 大学生の就職支援部門利用状況

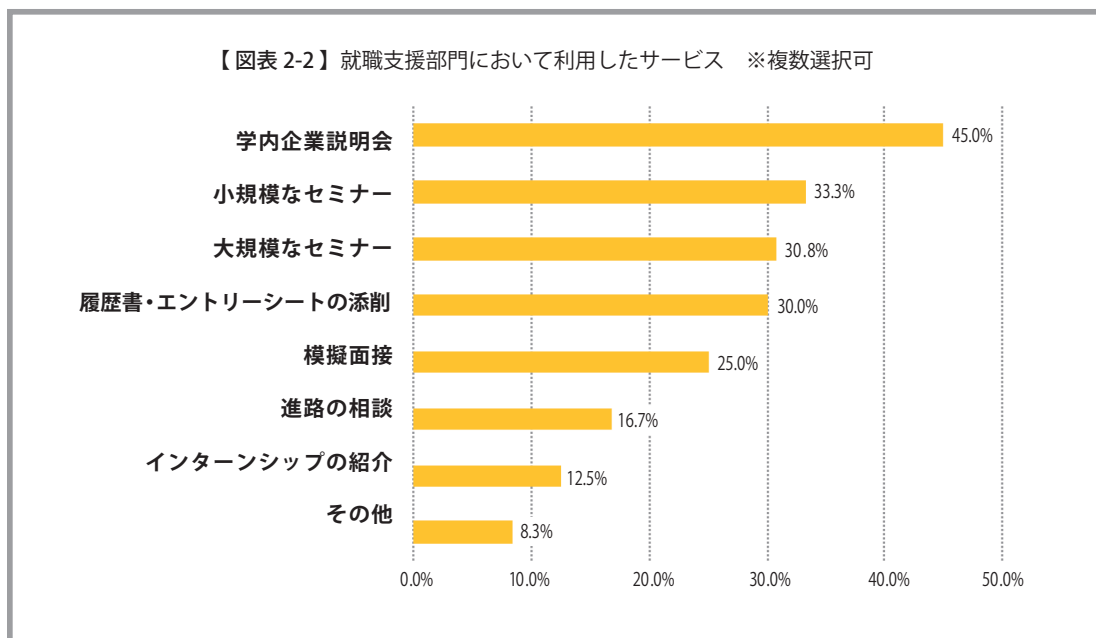
《サマリ》

- 学生のうち 47.6% が 1 ヶ月に 1 回以上、就職支援部門を利用。内容は「学内企業説明会」が最多。
- 利用した学生のうち 66.7% の学生が、「満足している」「どちらかと言えば満足している」と回答。

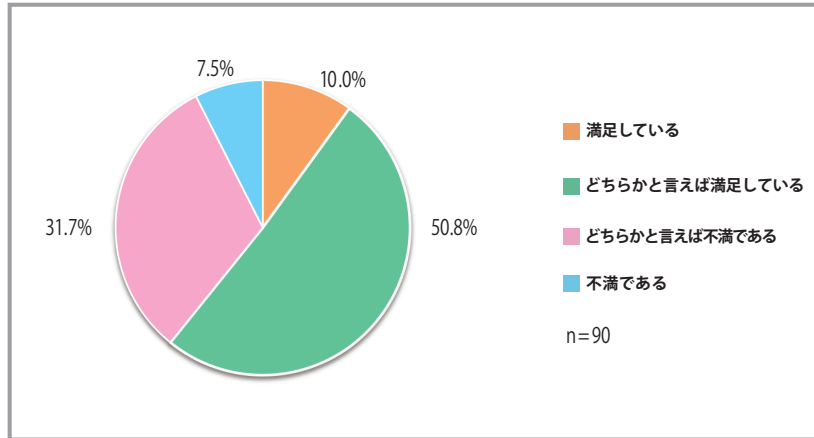
【図表 2-1】就職支援部門の利用状況



【図表 2-2】就職支援部門において利用したサービス ※複数選択可



【図表 2-3】就職支援部門を利用した結果満足したか



【就職支援部門に対する意見】

- もっと積極的にバックアップして欲しい、本人の意思に関係なく強制的に企業説明会などに参加させるべき。
(神奈川県・21歳・男性)
- すぐに予約が埋まってしまうので、相談や面接練習の機会を増やしてほしい。あと、予約状況がすぐにわかるように、インターネットを使って予約できるようにするなど工夫してほしい。
(石川県・21歳・女性)
- 学校のキャリア支援は、新卒で就職するということを正しい道だとしているが、それ以外にも選択肢があるのだということを示してほしい。じゃないと、もし就職できなかったときの失望感が大きいので。
(愛知県・21歳・女性)
- 色々な講演会、ワークショップを紹介して頂きありがたいとおもいますが、専門に合ったインターンシップのお知らせを頂けるとなお嬉しい。
(千葉県・24歳・女性)
- 相談や質問に行きたい時に、他の人の予約で埋まっているため相談出来ないことがよくあるため、もう少し人数を増やして対応して欲しいと思う。
(千葉県・23歳・女性)
- 就職活動マニュアル的な指導ばかりでなく、その人の人生設計や希望にあわせた進路指導をして欲しい。特に思うのは就職させて終わりではなく、就職した後も仕事や勤務先に満足して働けることも考慮して欲しい。
(福岡県・20歳・男性)
- 本当に社会に必要なニーズを理解して欲しい。コミュニケーション能力は社会でも身につけられるが、感受性は身につけられないし、主体性やリーダー性は授業やボランティアを通して考えられるから是非授業やボランティアの積極的な推進を行なって欲しい。
(広島県・21歳・女性)
- 進路相談室を利用することはとても役に立ったが、就活支援の講義は全く意味がないものだったので、それについては是非改善して欲しいと思う。(学校の履歴書を使用した履歴書の書き方についての解説が4年生になってからとか遅すぎ、3年生から何度かあった就活支援講義の内容もずっと変わらず自己分析・自己PRのみで実践的な面接訓練等はなしだった)
(北海道・21歳・女性)

3. 大学生の就職活動開始状況

《サマリ》

- 大学3年（短期大学1年・修士1年）4月には、全体の32%の学生が就職活動を意識している。
ただし、具体的な活動に移すのは、夏休み後の10月～11月が多い。就職協定解禁となる12月～1月には、約80%の学生が就職活動を行っている。

【図表 3-1】 就職活動を意識し始める時期と、実際に開始する時期（累計値をグラフ化）

